

岐阜県立下呂温泉病院経営強化プラン 令和7年度に関する評価（意見）

1. 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

項目	指標		参考実績 (令和4年度)	達成目標 (令和9年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	課題及びその改善策	意見等
(1) 医療機能に係るもの	救急搬送受入件数	実績値	967	1,060	1,215	1,111			・院長主導のもと断らない医療を継続し、救急搬送受入件数増等、目標を上回る成果を上げた。 ・令和7年度に訪問リハビリテーションを開設し、11月から訪問リハビリを開始した。今後も取組を継続していく。	
		達成率			114.6%	104.8%				
	救急からの入院件数	実績値	667	670	903	801				
		達成率			134.8%	119.6%				
	手術件数	実績値	430	440	492	514				
		達成率			111.8%	116.8%				
	リハビリ件数	実績値	26,754	29,000	41,881	43,327				
		達成率			144.4%	149.4%				
(2) 医療の質に係るもの	患者満足度（入院）	実績値	78%	85%	80%	75%			・満足度は徐々に増加しているが目標には到達していない。引き続き医師確保に努めるとともに、待ち時間対策や丁寧な接遇の徹底により満足度向上を図る。	・外来患者満足度の目標値を、理念をもって設定してほしい。
		達成率			94.1%	88.2%				
	患者満足度（外来）	実績値	44%	50%	43%	47%				
		達成率			86.0%	94.0%				
	在宅復帰率（地域包括全体）	実績値	76.9	85.0	84.6	81.7				
		達成率			99.5%	96.1%				
(3) 連携の強化等に係るもの	紹介率	実績値	35.2	39.0	43.8	31.9			・逆紹介率は向上したが紹介率が大きく低下した。へき地での地域医療を提供する当院においては当院自身がかかりつけ医的要素も持ち合わせているところではあるが、地域の医療機関との連携強化を継続し、適切な機能分化を推進する。	
		達成率			112.3%	81.8%				
	逆紹介率	実績値	40.2	45.0	56.8	67.0				
		達成率			126.2%	148.9%				
	臨床研修医の受入人数	実績値	10	10	14	10				
		達成率			140.0%	100.0%				
	医療福祉相談件数	実績値	5,243	5,800	3,509	10,480				
		達成率			60.5%	180.7%				
	医療機器の共同利用件数	実績値	148	170	117	99				
		達成率			68.8%	58.2%				
	開放型病床の利用件数	実績値	45	50	32	29				
		達成率			64.0%	58.0%				
(4) その他	健診センター受診者数	実績値	7,232	7,300	7,633	7,595			・健診受診者は堅調に推移している。禁煙外来等の新たな取組みを継続し、地域住民の予防医療ニーズに応える。また、認定・特定看護師の育成・活用を推進する。	
		達成率			104.6%	104.0%				
	認定看護師数	実績値	6	8	8	9				
		達成率			100.0%	112.5%				
	特定看護師数	実績値	1	2	3	3				
		達成率			150.0%	150.0%				
	臨床研修医の採用人数	実績値	2	2	2	2				
		達成率			100.0%	100.0%				

※達成率＝当該年度実績値／達成目標の値（パーセントで小数第1位まで記載）

2. 経営指標に係る数値目標

項目	指標		参考実績 (令和4年度)	達成目標 (令和9年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	課題及びその改善策	意見等
(1) 収支改善に係るもの	経常収支比率	実績値	94.7	94.6	79.2	85.8			・令和7年1月に策定した医療機能再編プランをもとにダウンサイジング、病棟再編及び新たな施設基準取得等の取組を進めたことで収支改善が図られた。引き続き、経営コンサルタントと連携し、収支の最適化を継続する。	
		達成率			83.7%	90.7%				
	医業収支比率	実績値	97.4	96.4	81.4	88.3				
		達成率			84.4%	91.6%				
	修正医業収支比率	実績値	64.0	80.9	64.0	67.2				
		達成率			79.1%	83.1%				
(2) 収支確保に係るもの	初診患者数	実績値	8,619	8,700	7,175	7,027			・機能再編プランに基づいた5つのワーキンググループを設置し、集患ワーキンググループでは市民公開講座を複数回開催する等、これまでにない積極的な活動を行ったが、看護師不足による一部休棟等により患者数が伸び悩んだ。 ・在宅医療の推進や地域包括ケア等の機能活用による収益向上を目指す。	・病床利用率アップを図りたい。
		達成率			82.5%	80.8%				
	新入院患者数	実績値	1,843	1,900	2,054	1,786				
		達成率			108.1%	94.0%				
	一日当たり入院患者数	実績値	113.9	129.7	126.9	124.9				
		達成率			97.8%	96.3%				
	一日当たり外来患者数	実績値	257.1	292.1	249.8	248.5				
		達成率			85.5%	85.1%				
	入院診療単価(全体)	実績値	41,635	45,549	39,041	40,406				
		達成率			85.7%	88.7%				
	入院診療単価(療養病床)	実績値	-	21,825	23,838	24,059				
		達成率			109.2%	110.2%				
	外来診療単価	実績値	13,541	15,408	12,722	12,374				
		達成率			82.6%	80.3%				
	病床利用率(全体)	実績値	55.3	63.0	75.5	78.9				
		達成率			119.8%	125.2%				
	病床利用率(療養病床)	実績値	-	75.0	75.5	78.8				
		達成率			100.7%	105.1%				
	平均在院日数	実績値	15.1	15.0	12.4	11.4				
		達成率			82.7%	76.0%				
(3) 経費削減に係るもの	給与費比率	実績値	103.3	80.0	103.1	99.5			・医療機能再編プランに基づいた取組により全ての数値が向上したが目標には到達していない。 ・材料費については後発医薬品の採用比率向上の成果が出ているため取組を継続する。給与費比率の適正化に向けては、業務効率化(DX化等)を引き続き進めるが、全国的な賃金引き上げが進む中で安定したへき地医療継続のため、診療報酬の引き上げ等による対応が必要不可欠であるという実態が浮き彫りになっており、今後も適切な人件費負担を求めていく。	
		達成率			77.6%	80.4%				
	材料費比率	実績値	14.4	14.3	15.3	14.7				
		達成率			93.5%	97.3%				
	経費比率	実績値	29.9	25.1	29.6	28.2				
		達成率			84.8%	89.0%				
	後発医薬品の使用割合(使用数量ベース)	実績値	42.4	65.0	69.9	82.8				
		達成率			107.5%	127.4%				
(4) 経営の安定性に係るもの	医師数	実績値	27	27	30	26			・全国的にも医療従事者不足が深刻な問題となっているが、これまでの取組に加えて、地域一体となった募集活動についても検討する。	・看護師充足を図りたい。
		達成率			111.1%	96.3%				
	看護師数	実績値	240	240	217	202				
		達成率			90.4%	84.2%				
	医療技術員数	実績値	75	75	69	69				
		達成率			92.0%	92.0%				

※達成率＝当該年度実績値／達成目標の値（パーセントで小数第1位まで記載）

※(3)給与費比率・材料費比率・経費比率は達成目標の値／当該年度実績値（パーセントで小数第1位まで記載）

3. 経営強化プランを達成するための各種取組の状況

項目	令和7年度の業務実績・課題及びその対策	意見等
地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能	・地域医療構想等を踏まえダウンサイジングによる機能再編と在宅医療を推進した。今後も人員配置の最適化と地域包括ケア病棟の運用強化により、急性期から在宅復帰まで切れ目のない医療提供を目指す。	
機能分化・連携強化	・令和7年7月に下呂市と医療提供体制の確保に係る連携協定を締結し、地域一体となって医療に取り組む体制を整備した。今後、地域需要に応じた医療提供体制の構築に向けて具体的な機能分化等の協議を進めていく。	
働き方改革への対応	・ICカード導入による入退庁管理システムや宿日直許可取得による外部からの派遣医師確保を継続し医師の業務負担軽減を図った。	
職員の勤務環境の向上	・柔軟な勤務時間体制を推進し、育児部分休業等の取得しやすい環境を継続した。	
新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組	・昨年度に引き続き新興感染症への対応を踏まえて県主催の新興感染症対策対応力強化研修へ参加し、新興感染症発生時に速やかに対応できるよう職員への教育を推進した。	
施設・設備の適正管理と整備費の抑制	・保守委託業務の見直しを継続し、緊急性の低い業務を随時保守へ変更する等により維持費の削減を図った。	
デジタル化への対応	・岐阜県循環器病医療ネットワーク構築事業にて、医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」を導入し、診療方針及び診断に関する回答を受けられる環境を構築した。 ・オンライン資格確認システムの医療費助成対応及び医療扶助対応を実施した。また、スマートフォンマイナ保険証の読み取り機器を導入した。 ・生成AI及びRPAを試験導入し、限られた人的資源の有効活用について検証するとともに業務全体の生産性向上を図った。	
経営の効率化等に係る目標達成に向けた具体的な取組	・経営コンサルタントの支援を受けて医療機能再編プランに基づいた5つのワーキンググループを設置し主に以下の取組を行った。 【人員最適配置】県に準拠していない給与制度（退職手当、昇給、医師手当）を洗い出し、職員組合に対して県の水準まで下げる提案を行った。 【病床最大活用】より収益性の高い病棟編成について検討し、病棟の施設基準をクリアできるように調整を行った。 【外来】新たに生活習慣病管理料及び特定疾患療養管理料の算定を開始した。また、フットケア外来やプレコンセプションケア外来を開始した。 【在宅】訪問診療及び訪問リハビリを開始した。 【集患】下呂市と共催で市民公開講座を3回開催した。また、下呂市や地域の開業医と協定を締結し連携強化を図った。	
その他特筆すべき事項		